

2006年防災教育チャレンジプラン最終報告書

記入日 2007年1月26日

I 概要

実践団体・担当者名	社会福祉法人知恩福祉会 海童保育園 (担当者：蓮池可奈子)	
連絡先	電話 0954-62-0627	
プランタイトル	消防署で防災について、体験学習してみよう！！ ～親子参加&地域との取組～	
目的	幼少時より防災教育をすることで、災害時に迅速かつ確な対応ができるようになることを目的とし、園児を通じて、保護者や地域への普及を図る。 また環境教育を取り入れ、災害について総合的に学習し、環境保全に努める。	
プランの概略	<p>環境教育を取り入れた防災教育をすることによって、災害のメカニズムを知ると同時に災害の原因を突き止め、環境保全の必要性を再認識するよう構成した。また園児が楽しんで参加出来るよう体験型プランを構成し、園児を通じて、保護者や地域にもプランに参加して頂くよう考慮した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 海童保育園エコ・キッズ結成/ゴミ拾いウォーキング開始【4月より月1回】 ② 浜小学校(避難場所)まで歩いてみよう【5月】 ③ 佐賀地方気象台出前出張講座【5月】 ④ 武雄消防署及び通信司令センター見学【6月】 ⑤ 森の教室【6月】 ⑥ 福岡市民防災センター親子研修及び福岡タワー見学【8月】 ⑦ 防火の呼びかけ・防災マップ作成【11月】 ⑧ ペットボトルで水難訓練【11月】 ⑨ エコキャンドル・ペットボトルツリー作成【11月】 ⑩ 地球にいいこと大発見【12月】 ⑪ 釜戸でご飯を炊いてみよう【12月】 ⑫ いのちについての講演会【1月】 ⑬ ゲームでかんがえてみよう～みのまわりのかんきょうとあんぜん～ 慶應義塾大学吉川先生講演会【2月】 ⑭ 変身の術【2月】 ⑮ 防災ダックによる指導及び避難訓練【毎月】 	
プランの対象と参加人数	教育関係者、行政関係者、NPO法人、保護者、個人等 約700名	
実施日時	2006年4月～2007年2月	
主な実施場所	<ol style="list-style-type: none"> ① 園内遊戯室 ② 地域(佐賀県鹿島市浜町) ③ 武雄消防署及び通信司令室(佐賀県武雄市) ④ 自然の館(佐賀県鹿島市) ⑤ 福岡市民防災センター及び福岡タワー(福岡市早良区) ⑥ 佐賀ユートピアスイミングクラブ(佐賀県嬉野市) ⑦ エイブルホール(佐賀県鹿島市) 	
連携した団体名、 連携の方法	連携団体の有無	有り
	連携した団体名	<ol style="list-style-type: none"> ① 鹿島市役所 ② 佐賀地方気象台 ③ NPO法人ビックリーフ ④ 鹿島消防署 ⑤ 佐賀県地球温暖化防止活動推進センター

	連携したきっかけ・理由	<ul style="list-style-type: none"> ① 専門家による指導をして欲しかったため ② 保育内容の充実を図るため
	連携団体へのアプローチ方法	<ul style="list-style-type: none"> ① 県庁や市役所に電話して、上記の②、③、⑤の団体を教えて頂いた。 ② 防災教育チャレンジプランの趣旨を説明し、協力が得られるようお願いした。
	連携団体との打合せ回数	<p>1 時間 × 6回</p> <p>その他、電話やメールで打合せ</p>
	連携団体との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ① 企画内容を説明し、それに沿って各団体に内容をアレンジしてもらった。 ② 司会進行以外は、各団体のスタッフに直接指導して頂いた。

Ⅱ プラン立案過程

プラン立案 メンバーの 人数・役割	団体内のスタッフ総人数	19名
	外部スタッフの総人数	9名
	主なメンバーの 役職・役割	防災教育担当 蓮池 可奈子（事務） 避難訓練担当 澤野 はるみ（保育士） // 石田 伸子（ // ）
プラン立案に要し た日数・時間	立案期間	2006年3月～2007年1月
	立案時間	およそ 3週間
	上記のうち打合せ回数	1時間 × 4回 その他、電話やメールで打合せ
プラン立案で 注意を払った点 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園児が楽しんで参加出来るよう体験型プランで構成し、園児の理解度に合わせて、各団体と打合せをした。 ○ 各行事と照らし合わせながら、プランを立案した。 ○ 保護者が参加する場合は時期や日時を考慮した。 ○ まずは、環境教育で災害の起こるメカニズムを知り、次に防災教育で災害時の対応が出来るよう指導し、最後にエコ教育で環境保全へと繋がるよう立案した。 ○ 中間報告会で林委員長をはじめ多くの方々にアドバイスを頂き、プラン内容がより一層充実したものになるよう、防災・環境ゲームを取り入れるなど実践を増やす工夫をした。 ○ 災害で家族をなくされた方や毎日のように子供達のいじめや自殺問題がニュースで流れるつれ、いのちの大切さについて親子で考え欲しいと思い、講演会を企画した。 ○ 防災教育を進めていく上で、早急に普及する必要性を感じたので、最新の防災・環境教育をより多くの方々に知ってもらう為、慶應義塾大学の吉川先生に講演会を依頼した。 ○ 今回の講演会を大人向けではなく、子供向けに依頼したのは、いざ実践となった場合、大人は今まで身に付いた習慣がなかなか改善出来ないことが多いので、子どもの柔軟性・将来性に着目し、今後の成長に期待した。 ○ 園児から小学校4年生までを対象とした講演会では、小学生が約100名、園児が約150名だったので、就学前の子供達の集中力を高めるため、イラストや写真を数多く使って頂きたいと吉川先生にお願いした。 ○ 講演会終了後に、吉川先生に保育園視察を兼ねてご来園頂く予定なので、当園では佐賀県地球温暖化防止活動推進センターの高木先生をお招きして、環境教育を見学して頂けるよう立案した。 	
プラン立案で 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほとんどの団体が初めてコンタクトを取ったところばかりだったので、打合せ時に趣旨を説明するのが大変だった。 ○ 保育園・幼稚園の防災教育の教材が少なく、大人や小学生向けの内容をいかに園児向けに分かり易く、アレンジするか思考錯誤した。 ○ 災害が少ない地域柄ということと自然が豊かな所なので、防災や環境教育に関心が薄く、最初はその必要性を保護者や地域の方に理解してもらうのに苦労した。 ○ 九州では防災フォーラム開催が極めて少なく、防災教育についてインターネット上で情報収集するしかなかった。 	

Ⅲ実践にあたっての準備

準備に関わった方 と人数・役割	団体内のスタッフ総 人数	19名
	外部スタッフの総人 数	3名
	主なメンバーの 役職・役割	防災教育担当 蓮池可奈子（事務） 避難訓練担当 澤野はるみ（保育士） // 石田伸子（ // ）
準備に要した日 数・時間	準備期間	2006年3月～2007年1月
	準備総時間	およそ 1ヶ月
	上記の内打合せ回数	1時間 × 3回 その他、電話やメールで打合せ
教育関係への 働きかけ	働きかけた教育関係 者・機関名	①市内小学校7校 ②市内保育園14ヶ園 ③鹿島市教育委員会 ④若草保育園副園長 中岡健雄先生 ⑤慶應義塾大学 吉川肇子先生
	どのように働きかけ たか	【慶應義塾大学吉川先生講演会】 ①教育委員会に電話で趣旨を説明し、市内小学校へ講演会の資料配 布を依頼。 ②各小学校に直接電話をしてアポを取り、校長先生等に趣旨を説明 し、参加を呼びかけた。 ③園長会で案内状を配布し、参加を呼びかけた。 ④保護者や地域・各団体にもメールやリーフレットで参加を呼びか けた。
	結果	呼びかけた結果、多くの方に関心を持って頂き、300名のホール はすぐに予約で満席となった。
地域への 働きかけ	働きかけた地域の 人・ 機関名	①浜町老人クラブ ②佐賀ユートピアスイミングクラブ
	どのように働きかけ たか	直接電話して趣旨を説明し、協力を求めた。
	結果	快く承諾して頂き、ご協力頂いた。
保護者・PTAへ の働きかけ	働きかけた保護者・ PTA組織名	海童保育園保護者会
	どのように働きかけ たか	案内状やメールリストで各プランのお知らせをし、参加や協力を 求めた。

	結果	<ul style="list-style-type: none"> ① 福岡市民防災センター親子研修では、年長児全員が親子で参加することが出来た。 ② 講演会に興味を持って頂いた保護者の方に参加して頂くことが出来た。
<p style="text-align: center;">機材・教材の 準備方法</p>	<p>用意した機材・教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① ゴミ拾いウォーキング【4月】 ゴミ袋・子供用手袋・火バサミ ② 浜小学校(避難場所)まで歩いてみよう【5月】 紙芝居・浜町地図 ③ 佐賀地方気象台出前出張講座【5月】 PC・プロジェクター・スクリーン・スピーカー コンセントドラム・台車・雲発生ペットボトル 雨量計・風向風速計・説明用パネル・はれるんうちわ パンフレット・着ぐるみ・雨滴落下実験装置・震度計 机・じょうろ・延長コンセント・梱包材料・バケツ ④ 森の教室【6月】 虫除けスプレー・葉っぱ各種・シール・マジック ラミネーター・ラミネートフィルム・紙芝居 虫かご・夏の虫図鑑・どんぐりの苗木3本・スコップ 鍬・ビニール紐・添え木・立看板 ⑤ 福岡市民防災センター親子研修及び福岡タワー見学【8月】 展望チケット・救急箱等 ⑥ 防火の呼びかけ及び防災マップ作成【11月】 マーチング衣装・楽器・プラカード・防火標語・折鶴 拍子木・はっぴ 探検隊ジャケット・地図・マジック・クレパス 画用紙・写真入イラスト・模造紙・シール・のり はさみ・新聞紙 ⑦ ペットボトルで水難訓練【11月】 ペットボトル・笛 ⑧ エコキャンドル・ペットボトルツリー作成【11月】 廃油・廃油凝固剤・クレヨン・空き瓶・たこ糸・割り箸 アロマオイル・カセットコンロ・雪平鍋・新聞紙 シール・マジック・クリアテープ ペットボトル・両面テープ・クリアテープ・モール 青色クリスマスライト・画用紙 ⑨ 地球にいいこと大発見【12月】 えこっばかりた・ビニール製地球儀2個・絵本 ひらがなのフリップ・笛 ⑩ 釜戸でご飯を炊いてみよう【12月】 アルミ製釜戸・薪・マッチ・新聞紙・米1升・団扇 ⑪ いのちについての講演会【1月】 パネルシアター・椅子・マイク ⑫ 慶応義塾大学吉川先生講演会【2月】 演台・垂れ幕・リーフレット・配布用資料・案内状・机 椅子・クイズ用プレゼント・マイク・PC・スクリーン パネル・プロジェクター・ビデオ ⑬ リサイクルについて考える【2月】 古着・古本・写真 ⑭ ぼうさいダックによる指導及び避難訓練【毎月】 ぼうさいダック・ヘルプサート・マイク・地図・消火器

	入手先・入手方法	<p>【園で準備したもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 子供用手袋・火バサミ ② 紙芝居・浜町地図 スクリーン・机・じょうろ・延長コンセント・梱包材料 バケツ ③ 虫除けスプレー・マジック・はさみ・ラミネーター ラミネートファイルA4・どんぐりの苗木3本 虫かご・夏の虫図鑑・立看板 ④ 展望チケット・救急箱等 ⑤ マーチング衣装・楽器・防火標語・折鶴・拍子木 はっぴ・プラカード・地図・クレパス・画用紙 写真入イラスト・のり・はさみ・新聞紙 ⑧ 廃油・廃油凝固剤・クレヨン・空き瓶・たこ糸・割り箸 アロマオイル・カセットコンロ・雪平鍋・新聞紙 シール・マジック・クリアテープ ペットボトル・両面テープ・クリアテープ・モール 青色クリスマスライト・画用紙 ⑩ アルミ製釜戸・薪・マッチ・新聞紙・米1升・団扇 ⑪ 椅子・マイク ⑫ 配布用資料・案内状・クイズ用プレゼント リーフレット・垂れ幕 ⑮ ぼうさいダック・ヘアサート・マイク・地図・消火器 <p>上記外は各団体で準備して頂いた。</p>
	機材・教材選定の理由（なぜこの機材・教材を選んだのか）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験学習を通して、実際に災害が起こったときに迅速かつ的確な対応が出来るよう指導するため。 ○ 幼少時より環境教育をすることで、自然と身につけさせたかったため。 ○ エコに関心を持ってもらうため。 ○ 保護者や地域の方に少しでも防災や環境問題について関心を持ってもらうため。
参加者の募集	募集方法	<p>【慶應義塾大学吉川先生の講演会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 前述の教育関係、地域、保護者への案内配布 ② マスコミリリース サガテレビ・NHK佐賀放送局・佐賀新聞・鹿島市広報課 佐賀県庁広報課・FBS福岡放送局
	募集期間	2006年12月～1月
	参加予想人数	300名
	実際の参加人数	380名（予定）
	募集方法の成功点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 案内時の説明で趣旨を理解して頂いたため、参加率が高まった。 ○ 各小学校や保育園に今後の防災・環境教育のカリキュラムに活用出来ることを伝えたため、多くの方に参加して頂く事が出来た。 ○ 慶應義塾大学の先生が来られるという事で注目と関心度が高まった。

	募集方法の失敗点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企画から開催までの期間が短かったので、開催予告で県民だよりや市報を活用出来なかった。
準備で苦労した点・工夫した点		<ul style="list-style-type: none"> ○ スクリーンやプロジェクターは市役所生涯学習課の無料貸出を大いに活用した。 ○ 企画した全てのプランが、初めて取り組むものばかりだったので、当初は何を準備すれば良いのか検討もつかなかったが、徐々に要領を覚え、団体と連携する際には、園で準備するものを予めメールで教えて頂くようにした。 ○ 各プランとも園内行事の合間に行っていたので、参加者を募る場合には2ヶ月前から下準備をした。 ○ 初めて講演会を企画したので、開催するまでに準備等の不備がないかを何度も確認した。 ○ 吉川先生と講演会内容の取り取りがメールだけだったので、準備等は綿密に連絡を取りあった。 ○ ホール予約から受付時の配布資料、司会進行に至るまで全体の事に配慮しながら、準備しなければならなかったのが大変だった。

IV タイムスケジュール（プラン立案から実践終了までのスケジュールを記載して下さい。）

	プラン立案	実践にあたっての準備	実践
2006年 3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 佐賀地方気象台へコンタクト ○ 鹿島市役所環境下水道課へコンタクト ○ 3/8 鹿島市役所環境下水道課と打合せ 「ゴミ拾いウォーキングについて」 ○ 3/16 佐賀地方気象台と打合せ 「企画内容について」 		
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 杵藤地区広域市町村圏組合消防本部へコンタクト ○ NPO法人ビックリーフへコンタクト ○ 福岡市民防災センターへコンタクト 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回マスコミリリース 「ゴミ拾いウォーキング」 ○ 4/11 福岡市民防災センター団体予約 ○ 4/24 佐賀地方気象台へ依頼書作成・送付 ○ 4/24 杵藤地区広域市町村圏組合消防本部へ見学依頼書作成・送付 「武雄消防署及び通信司令センター見学について」 ○ 4/25 NPO法人ビックリーフへ依頼書作成・送付 「企画内容について」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4/17 海童保育園エコキッズ結成／ゴミ拾いウォーキング開始（毎月1回）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 浜小学校へコンタクト 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 佐賀地方気象台出前出張講座参加者確認書作成・配布 ○ 第2回マスコミリリース ○ 5/9 出前出張講座内容確認書作成・送付 ○ 佐賀地方気象台とメールで数回打合せ ○ 5/11 浜小学校と打合せ 「浜小学校見学について」 ○ 5/31 財)さが緑の基金へ森林交流指導員派遣依頼書の作成・送付 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5/26 佐賀地方気象台出前出張講座 ○ 5/30 浜小学校見学
6月		<ul style="list-style-type: none"> ○ 鹿島福祉事務所へバス予約 「福岡防災市民センター親子研修」 ○ NPO法人ビックリーフと鹿島市自然の館で打合せ 「森の教室」 ○ 第3回マスコミリリース 「森の教室」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6/30 森の教室開催
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時事画報社より取材依頼内閣府広報誌「Cabi ネット」 ○ 鹿島消防署とコンタクト 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡市民防災センター参加者確認書作成・配布 ○ 7/31 鹿島消防署と打合せ 「Cabi ネット取材当日内容について」 	
8月		<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡市民防災センター及び福岡タワー下見 ○ 福岡タワー団体予約及び食事場所予約 ○ 8/18 福岡市民防災センター研修日程表配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8/4 「Cabi ネット」取材当日避難訓練 ○ 8/26 福岡市民防災センター親子研修及び福岡タワー見学

9月		○ 中間報告会資料作成	
10月	○ 中間報告会	○ 10/31 防災マップ作成の為の保護者へ情報提供依頼書作成・配布	
11月	○ ○11/8 鹿島市役所総務課と打合せ 「防災設備情報提供」 ○ 佐賀ユートピアスイミングクラブへコンタクト 「水難訓練について」 ○ 佐賀県庁へコンタクト 「企画内容について」 ○ 地球温暖化防止活動推進センターへコンタクト	○ 11/10 第2回鹿島市役所総務課と打合せ 「鹿島市長表敬訪問について」 ○ 第4回マスコミリリース 「鹿島市長表敬訪問」 ○ 11/24 環境サポーター派遣申請書作成・提出 ○ 11/22 日本損害保険協会へ防災マップを送付 ○ ペットボトルツリー用のペットボトルを保護者よりメーリングにて収集 ○ エコキャンドル作り下準備	○ 11/9 防火の呼びかけ・防火パレード ○ 11/13 ぼうさい探検 ○ 11/14 ペットボトルで水難訓練 ○ 11/17 防災マップ作成 ○ 11/27～11/28 エコキャンドル作り ○ 11/29～12/1 ペットボトルツリー作り
12月	○ 慶應義塾大学吉川先生へコンタクト 「講演会依頼について」 ○ 鹿島市教育委員会へコンタクト ○ 市内小学校7校とコンタクト ○ 鹿島市役所へコンタクト ○ 佐賀県庁へコンタクト ○ 若草保育園へコンタクト 「企画内容について」 ○ 鹿島市生涯学習課へコンタクト	○ 地球温暖化防止活動推進センターとメールで数回打合せ 「地球にいいこと大発見」 ○ 釜戸等の準備 ○ 慶應義塾大学吉川先生とメールで打合せ 「講演会内容について」 ○ 12/21 講演会案内状を作成・市内小学校へ配布 ○ 12/21 講演会案内状を園長会にて配布 ○ エイブルホール予約 ○ ホール座席予約受付開始 ○ 12/28 若草保育園と打合せ 「いのちについての講演会について」	○ 12/2 生活発表会で防災探検隊の活動内容発表及びエコキャンドル・ペットボトルツリー展示 ○ 12/20 地球にいいこと大発見 ○ 12/21 釜戸でご飯を炊いてみよう
2006年 1月	○ 地球温暖化防止活動推進センターへコンタクト ○ 鹿島市役所とコンタクト ○ 最終報告書提出	○ 慶應義塾大学吉川先生とメールで数十回打合せ 「講演会内容について」 ○ ホール座席予約受付終了 ○ 地球温暖化防止活動推進センターとメールで数回打合せ 「リサイクルについて」 ○ ホール担当と打合せ ○ 鹿島市教育委員会へ講演会詳細内容を市内小学校へ配布依頼 ○ 講演会配布資料等準備 ○ 最終報告書の作成・提出 ○ 鹿島市役所へ垂れ幕作成依頼 ○ 第5回マスコミリリース 「慶應義塾大学吉川先生講演会の案内」	○ 1/11 いのちについての講演会
2月			○ 2/1 慶應義塾大学吉川先生の講演会「ゲームでかんがえてみよう～みのまわりのかんきょうとあんぜん～」 ○ 2/1 変身の術

V実践の詳細 【A. 素材】(メインとなる活動を45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル	①海童保育園エコ・キッズ結成/ゴミ拾いウォーキング開始			
実施日	4月17日(月)9:30~11:00			
所要時間	10分	15分	15分	50分
達成目標	ゴミ拾いの趣旨を知る	環境破壊の恐ろしさを知る ゴミ拾いの大切さを学ぶ	ゴミの分別を体験学習する	ゴミ拾いの場所を地図で確認する
生成物				
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● 鹿島市役所環境下水道課の職員紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ● 写真やパネルを見せながら、環境破壊の恐ろしさを伝える ● ゴミを捨てないように注意を促す ● ゴミ拾いの大切さを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 3種類のゴミ袋の説明 ● 実際にゴミの分別を体験学習する 	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴミ拾いの場所を確認する ● 手袋をつけて、ゴミ拾いに出発する
ツール (特別に用意したもの)	<ul style="list-style-type: none"> ● マイク 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境汚染の写真 ● 環境汚染のパネル 	<ul style="list-style-type: none"> ● 棒 ● ゴミ袋 ● ごみ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地図 ● ホワイトボード ● 子供用手袋
場所	園内遊戯室			園内遊戯室 地域

V実践の詳細 【A. 素材】(メインとなる活動を45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル	②佐賀地方気象台出前出張講座			
実施日	5月26日(金) 9:30~11:00			
所要時間	10分	20分	30分	30分
達成目標	はれるんとお友達になろう	気象庁の仕事内容を知ろう	「てんきとぼうさい」について学ぶ	気象のメカニズムを知る
生成物				
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● はれるん登場・紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ● アニメ上映により、気象庁の業務内容について学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 講師の先生の紹介 ● パワーポイントで大雨や台風について学ぶ ● クイズに答える「雨の形で知ってる？」等 ● 質問コーナー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 気象台職員による装置の説明 ● 実際に測器や実験装置で体験学習する ● はれるんと記念撮影 ● 参加者にうちわ等プレゼント
ツール (特別に用意したもの)	<ul style="list-style-type: none"> ● マイク ● 着ぐるみ 	<ul style="list-style-type: none"> ● PC・スクリーン ● プロジェクター ● DVD ● スピーカー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 机・椅子 ● PC・スクリーン ● プロジェクター ● 説明用パネル 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種測器・実験装置 ● はれるんうちわ ● パンフレット ● その他備品
場所	園内遊戯室			

V実践の詳細 【A. 素材】(メインとなる活動を45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル	③浜小学校(避難場所)まで歩いてみよう			
実施日	5月30日(月)10:00~11:00			
所要時間	10分	10分	20分	10分
達成目標	浜小学校が避難場所であることを知る	浜小学校まで歩く	浜小学校内を見学する	感想を聞く
生成物				
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● 浜小学校についての説明 	<ul style="list-style-type: none"> ● 浜小学校までの距離を計るため、実際に歩いてみる ● 浜小学校に到着 	<ul style="list-style-type: none"> ● 体育館内を見学 ● 運動場へ移動 ● 他の避難場所を地図で確認する ● 水害について紙芝居で学ぶ ● 災害時には避難場所に逃げるよう指導する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供達に質問をする ● 子供達の反応を受け止める ● 家の人にも浜小学校が避難場所であることを伝えるよう指導する
ツール (特別に用意したもの)			<ul style="list-style-type: none"> ● 地図 ● 紙芝居 	
場所	浜小学校			

V実践の詳細 【A. 素材】(メインとなる活動を45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル	④武雄消防署及び通信司令室見学	
実施日	6月7日(水) 10:00~11:30	
所要時間	30分	60分
達成目標	通信司令センターの業務内容を知る	消防署と連携を強化する 消防署の業務内容や各車両の役割を知る
生成物		
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● 施設内を見学 ● 九州初の日立ソリューションシステムについて学ぶ (人工衛星から当保育園の屋上を見せてもらう) ● 最新の通信システムの流れを学ぶ ● メイン・コンピューター室を見学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 消防車・救急車・レスキュー車・はしご車についてそれぞれ説明を受けながら、見学させてもらう ● レスキュー車では実際に職員が運ばれていく姿を子供達に見せ、感想を聞く ● はしご車がどれ位の高さまで救助出来るのかを職員が乗車して、子供達に見せる ● 記念撮影
ツール (特別に用意したもの)		
場所	通信指令センター	武雄消防署

V実践の詳細 【B. イベント】(短期集中型のプログラムを45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル	⑤森の教室			
実施日	6月30日(金) 11:00~14:30			
所要時間	30分	30分	50分	40分
達成目標	木の根の大切さを知る 落ち葉の役割を知る	森の中で生き物探し 森と親しむ	葉っぱマンを作ろう	どんぐりの木を植樹する
生成物			● 葉っぱマン	
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● 森の中へ入り、木の根を観察しながら、木の根の大切さについて学ぶ ● 落ち葉の役割について学ぶ ● 落ち葉の下の生き物を探す 	<ul style="list-style-type: none"> ● 森の中を移動しながら、生き物を探す ● 様々な生き物を発見・観察する ● 植樹の下準備をする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 葉っぱ採集 ● 様々な葉っぱの名前を知る ● 葉っぱをラミネートフィルムの上にレイアウトし、作品を作る ● 記念撮影 	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙芝居でどんぐりの木について学ぶ ● 鍬とスコップを使って土を掘り、どんぐりの苗木を植える ● 最後に水遣りをする ● 後日、植樹記念の看板を立てる
ツール (特別に用意したもの)	<ul style="list-style-type: none"> ● 虫除けスプレー ● 虫かご ● 夏の虫図鑑 		<ul style="list-style-type: none"> ● 葉っぱ各種 ● ラミネーター ● ラミネートフィルム ● シール・マジック 	<ul style="list-style-type: none"> ● どんぐりの苗木3本 ● 鍬・スコップ ● 添え木・ビニール紐 ● 植樹記念の看板
場所	自然の館周辺(佐賀県鹿島市)		自然の館研修室	自然の館周辺

V実践の詳細 【A. 素材】(メインとなる活動を45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル	⑥福岡市民防災センター親子研修及び福岡タワー見学	
実施日	8月26日(土) 11:40~14:10	
所要時間	60分	40分
達成目標	親子で災害体験をし、迅速かつ的確な判断力を養う (火災体験、風速30mの強風体験、震度5・7の地震体験)	西方沖地震について学ぶ
生成物		
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● 施設内を見学 ● 2班に分かれる ● 災害のレベルや注意事項を聞いた後、実際に体験する ● 参加者同士、意見交換をする ● 体験終了後、室内展示用ヘリコプターに試乗 ● 記念撮影 	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● タワー職員の方に西方沖地震発生当時の状況について教えてもらう ● 123mの高さから震源地を確認する
ツール (特別に用意したもの)		● 展望チケット
場所	福岡市民防災センター(福岡市早良区)	福岡タワー(福岡市早良区)

V実践の詳細 【B. イベント】(短期集中型のプログラムを45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル	⑦防火の呼びかけ・防災マップ作り／⑧ペットボトルで水難訓練			
実施日	11月9日(木)	11月10日(金)・13日(月)	11月14日(火)	11月15日(水)～17日(金)
所要時間	120分	90分×2	20分	45分×3
達成目標	防火の呼びかけをする 防火パレードをする	町を歩いて、防災施設等を確認する	ペットボトルで水難訓練	防災マップを作る
生成物	●防火標語・折鶴			●防災マップ2枚
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「火の用心マッチー本火事のもと」と大きな声で、地域の人に防火の呼びかける ● 銀行や郵便局などに防火標語と折鶴を渡して、店内に飾ってもらう ● 防火パレードで、さらに地域の人に防火を呼びかける 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災施設などのポイントを写真に記録する ● 有明海の満潮・干潮時の浜川の水位差を観察し、水害時の避難場所を確認する ● 蓬で応急処置の仕方を学ぶ ● 市長表敬訪問 ● 派出所でこども110番について学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● ペットボトルを使って、水中で体が浮くよう体験学習する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今まで体験した感想を画用紙に書く ● イラストを描く ● 地図の色を塗る ● マップに今まで体験した写真入りのイラストを貼り付ける ● 出来上がった作品を1つは日本損害保険協会に提出し、1つは生活発表会の時に展示する
ツール (特別に用意したもの)	<ul style="list-style-type: none"> ● 拍子木・はっぴ ● マーチング衣装・楽器 ● プラカード 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地図 ● カメラ ● 探検隊ジャケット 	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラ 	<ul style="list-style-type: none"> ● クレパス・マジック ● シール・のり・はさみ ● 新聞紙・写真入イラスト ● 画用紙・模造紙
場所	地域・佐賀銀行浜出張所前	地域	佐賀1-11° 双ミツク クラブ	教室

V実践の詳細 【A. 素材】(メインとなる活動を45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル	⑨エコキャンドル・ペットボトルツリー作り		
実施日	11月27日(月)・28日(火)		11月29日(水)~12月1日(金)
所要時間	120分		180分
達成目標	エコキャンドルを作ろう リサイクルする楽しさを味わう		ペットボトルツリーを作ろう ゴミで作品が出来る事を学ぶ
生成物	● エコキャンドル		● ペットボトルツリー
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● 下準備をする ● 5班に分かれ、役割分担をする ● 廃油を温め、後は手順良く進めていく ● 廃油が固まったら、容器の周りをシールで飾る 		<ul style="list-style-type: none"> ● ペットボトルツリーの構成を考える ● 収集したペットボトルでブロックを作っていく ● ブロックの間に青色クリスマスライトを固定しながら、重ねていく ● サンタクロースへ手紙を書く ● ツリーの完成後、手紙やモールなどで飾り付けをする
ツール (特別に用意したもの)	<ul style="list-style-type: none"> ● クレヨン ● 新聞紙 ● 空き瓶 ● 雪平鍋 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃油 ● たこ糸 ● 割り箸 	<ul style="list-style-type: none"> ● 固めるテンプル ● アロマオイル ● カセットコンロ ● 2リットルの四角いペットボトル ● 両面テープ・クリアーテープ ● カッター ● 青色クリスマスライト・モール ● 画用紙
場所	教室		

V実践の詳細 【A. 素材】(メインとなる活動を45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル	⑩地球にいいこと大発見			
実施日	12月20日(水) 10:00~11:00			
所要時間	10分	10分	30分	10分
達成目標	地球について学ぶ	ひらがなで遊ぶ	えこっぱかるたで遊ぼう	絵本の読み聞かせ
生成物				●お手紙
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● 先生紹介 ● 2つのビニール製の地球儀で元気な地球と元気でない地球(空気を少し抜いておく)について説明 ● 元気な地球にするにはどうすれば良いか子供達に問い掛け、元気になる方法を教える ● 室内の照明を消して、省エネについて考える 	<ul style="list-style-type: none"> ● ひらがなのフリップを使って、人や物の名前の最初のひらがな当てゲームをする ● 次のアクティビティへつなげる 	<ul style="list-style-type: none"> ● クラス毎に2チームに分かれる ● ルール説明 ● ゲーム開始 ● かるたで環境用語について学ぶ ● 解説で実際に体験学習する ● 感想を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ● 絵本を読み聞かせ、感想を聞く ● 読み聞かせを通して、子供達で決めたことを尋ね、受け止める ● 体操ゲームをする ● お手紙を書く
ツール (特別に用意したもの)	● ビニール製の地球儀2個	● ひらがなフリップ	<ul style="list-style-type: none"> ● えこっぱかるた ● 笛 	● 絵本「コスモスぼしからきたペルル」
場所	園内遊戯室			

V実践の詳細 【A. 素材】(メインとなる活動を45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル	⑫いのちについての講演会			
実施日	1月11日(木) 10:10~11:00			
所要時間	10分	15分	15分	10分
達成目標	いのちと心について学ぶ	家族の死をテーマに、いのちについて考える	いのちのつながりを知る いのちを大切にすることを学ぶ	名前を呼ぶことの大切さを知る 親子の絆について考える
生成物				
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● おまわり ● 若草保育園の先生紹介 ● 命と心の場所はどこにあるかを子供達に尋ねる ● 世の中には、目に見えないものがある事を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ● パネルシアターで家族の死をテーマにいのちについて考える ● 極楽の意味とは何かを皆で考える 	<ul style="list-style-type: none"> ● 絵本を読み聞かせ、自分の命が多くの人から受け継がれていることを知る ● 目に見えない多くのご先祖様から見守られていることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ● 名前を呼ぶとコミュニケーションが生まれ、お互いの存在確認が出来ることを学ぶ ● 参考書を読みながら、親子の絆の大切さを説く ● 母親の愛情の大切さを保護者の方に伝える
ツール (特別に用意したもの)	<ul style="list-style-type: none"> ● マイク ● 椅子 	<ul style="list-style-type: none"> ● パネルシアター 	<ul style="list-style-type: none"> ● 絵本「いのちのまつり」 ● イラストパネル 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本 ● ホワイトボード
場所	園内遊戯室			

V実践の詳細 【A. 素材】(メインとなる活動を45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル	⑬ゲームでかんがえてみよう～みのまわりのかんきょうとあんぜん～(慶應義塾大学吉川先生講演会)			
実施日	2月1日(木) 10:00～11:30			
所要時間	25分	20分	15分	10分
達成目標	ぼうさいダックを体験学習	ドイツとスイスの安全ゲームを学ぼう	環境の変化を考える	環境ゲームの紹介
生成物				
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● 挨拶 ● 吉川先生紹介 ● ぼうさいダックで災害時の最初にとる動作を体験学習する ● いくつかのパターンを紹介 ● 	<ul style="list-style-type: none"> ● ドイツの安全教育のためのゲームを紹介 ● スイスの知育玩具のゲームを紹介 ● 終了後、10分休憩 	<ul style="list-style-type: none"> ● クイズ形式で環境について学ぶ ● 正解者にプレゼントを渡す 	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴミ捨てゲームの紹介 ● 展示ブースのゲームについて説明する
ツール (特別に用意したもの)	<ul style="list-style-type: none"> ● マイク・スクリーン ● PC・プロジェクター ● 演台・机・椅子 ● 垂れ幕 ● ぼうさいダック 	<ul style="list-style-type: none"> ● マイク・スクリーン ● PC・プロジェクター 	<ul style="list-style-type: none"> ● プレゼント 	<ul style="list-style-type: none"> ● 机・パネル ● 展示用ゲーム
場所	エイブルホール(佐賀県鹿島市)			

V実践の詳細 【A. 素材】(メインとなる活動を45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル	⑭変身の術(カナダの環境ゲーム)	
実施日	2月1日(木) 13:30~14:30	
所要時間	40分	20分
達成目標	リサイクルについて考える	古着や古本を海外へ送ろう 物を大切にする心を養う
生成物		
進め方 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● 箱の中のゴミの中から、1つ取り出す ● そのゴミがリサイクル出来るかを子供達に問い掛け、受け止める ● ゴミとリサイクル製品の組み合わせ当てゲームをする (例: ペットボトル=フリース など) ● 組み合わせの答え合わせをする ● 話し合いカードで身の周りのリサイクルについて考え、環境保全の必要性を説く 	<ul style="list-style-type: none"> ● 概要説明 ● 地球上には食べる物も着る物もなく、困っている人たちがいる事を知る ● 自分達が物質面で恵まれている事に気づく ● 物を大切にすることを学ぶ ● ダンボールに古着や古本を詰めて送る
ツール (特別に用意したもの)	<ul style="list-style-type: none"> ● 箱 ● ペットボトルなどの複数のゴミ ● リサイクル製品 ● 話し合いカード 	<ul style="list-style-type: none"> ● 古着・古本 ● ダンボール ● 写真パネル
場所	園内遊戯室	

VI実践後

<p>参加者へのアンケート結果</p>	<p>【佐賀地方気象台出前出張講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アニメだったので、子供達にも分かり易く、クイズもあってとても楽しそうでした。 ○ 雲の形によって、天気が変わる様子や雨の形を初めて知りました。 ○ 気象について、どのくらい興味を持つのか心配でしたが、難しい内容にも関心を持って聞いてくれたので良かった。 ○ 正直、内容がまだ園児には難しかったと思う。子供向けの説明でしたが、大人向けでも調度良い内容だったと思いました。 ○ はれるんくんに大変興味があるようでした。(多数回答) ○ 天気予報にさらに関心を持つようになった。 ○ 水の大切さや自然の大切さを伝えていきたいと思いました。 ○ 自然破壊による異常気象が世界中で課題になっているが、一人一人が地域と共に考える必要があると思いました。 ○ これから梅雨や台風の時期になるので、雨の話をしていきたいと思います。 ○ 仕事の都合が合えば、次回も参加したいです。親子や保護者同士のコミュニケーションも取れて良かったと思います。 <p>* 慶應義塾大学吉川先生講演会後もアンケート調査を実施予定</p>	
<p>成果として得たこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート調査の結果、殆どの保護者の方が気象について関心を持って頂く事ができ、今後もまたこのような講座を開催していきたいと思った。 ○ 保護者とのコミュニケーションが深まり、連携強化に繋がった。 ○ 団体内スタッフ、外部スタッフとの連携体制が強くなった。 ○ 保護者間で防災教育についての必要性や関心度が高まった。 	
<p>成果物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ Cabi ネット掲載記事 ○ 福岡管区時報掲載記事 ○ 気象台配布資料【雨量計の作成】 ○ 環境学習プログラムデザイン「地球にいいこと大発見」 ○ 森の教室プログラム ○ 福岡市民防災センター日程表 ○ 慶應義塾大学吉川先生講演会リーフレット ○ 慶應義塾大学吉川先生講演会内容と参考資料 ○ 変身の術解説書 ○ 活動内容報告書 	
<p>広報方法</p>	<p>広報した先</p>	<p>佐賀新聞・サガテレビ・NHK佐賀放送局・佐賀県庁広報課 鹿島市役所広報課・FBS福岡放送局</p>
	<p>広報の方法</p>	<p>マスコミリリースを1週間前と前日にファックス及びメールで流した。</p>
	<p>取材にきたマスコミ</p>	<p>時事画報社・佐賀新聞・サガテレビ・鹿島市広報課 佐賀県庁広報課</p>

	<p>広報された内容（掲載された記事・番組等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4/17 サガテレビでゴミ拾いウォーキングの様子を放映 同内容が12月よりサガテレビ「エコ・キャンペーン」期間中にCMとして採用 ○ 5/28 の佐賀新聞に佐賀地方気象台出前出張講座の様子が掲載 ○ 6/10 福岡管区気象台の広報誌に園児対象の出前講座が全国初ということで、6ページ中、3ページ掲載 ○ 9/1 のCabi ネットに避難訓練の様子が掲載 ○ 9/1 の広報かしまに避難訓練の様子が掲載 ○ 現在、佐賀県庁HPの子ども向けサイトに2/1の慶應義塾大学吉川先生講演会内容を掲載予定。
	<p>成功点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園児対象の出前出張講座が全国初という事もあり、大きく取り上げられた。 ○ 思いがけない取材依頼やCM放送依頼があり、その後の防災教育を進めていく上で大いに活用出来た。 ○ 当園の防災教育を多くの人や団体に知って頂くきっかけとなった。 ○ テレビCMの効果は大きく、保護者や地域の方に活動内容をより理解して頂き、協力体制が強化された。 ○ 保護者の方も当園の環境教育に興味を持って頂き、西日本新聞にも投稿・掲載された。 ○ 佐賀県庁HPの子ども向けサイトにも掲載予定で、当園の活動の輪が現在も広がりをみせている。また今後の動向にも注目が集まり、県内有数の防災・環境教育推進園としての役割を果たすようになってきた。
	<p>失敗点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各報道機関に何度かリリースしたが、2回目以降、反応がなかった。
<p>全体の感想と 反省・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子供達が楽しんで参加出来るプログラムが構成でき、保護者や地域の方にも防災や環境教育への関心度が徐々に広まっていったのは、大きな成果だった。 ○ 防災教育チャレンジプランを始めた当初と現在を比べると明らかに園内外で防災及び環境教育の知識向上・関心度が高まった。 ○ 今後の取り組み方を検討しながら、体験型プログラムを構成し、他の保育園や小学校と連携を図りたい。 	
<p>今後の予定</p>	<p>来年度以降の進め方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教育のバージョンアップを図る為、知識向上に努め、保育内容に活用していきたい。 ○ 福岡市民防災センター親子研修を継続していきたい。 ○ さらに環境教育を取り入れ、園内で使用する洗剤や石鹸等は全てエコ商品に切り替え、園から保護者または地域の方にエコライフを普及していきたい。 ○ 子供達には引き続き、環境教育と防災教育の両方を兼ね備えた指導をしていきたい。 ○ 都会と田舎、両方の良さを活かせるような体験型プログラムを考案し、園児を対象とした防災教育と環境教育をさらに普及したい。

	<p>是非実施してみたい 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最新の防災教育とヨーロッパの環境教育を、保育内容に取り入れていきたい。 ○ エコ新聞を作成し、園内外で環境問題に取り組んでいきたい。 ○ 他の保育園・幼稚園でも活用できるような体験型プログラムを構成し、広めていきたい。 ○ 園児向けの教材が少ないので、教材の充実を図りたい。
<p>自由記述</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教育チャレンジプランに参加させて頂いたことで、色々な団体の方と知り合うことが出来た。 ○ 専門家の先生の指導により、保育内容の充実が図れたと同時に知識向上にも繋がった。 ○ 未来を担う子供達の環境が改めて悪化の一途を辿っているという事を気づかされ、早急に改善しなければならないという使命感が出てきた。 ○ 環境問題については、今までは企業や官公庁任せのところが多かったが、私達自身が賢くなる事も大切だということ気付いた。 	